

Attention For Customer

原稿制作・進行上のお願い

純広告送稿のオンライン化について

弊社では現在オフラインで入稿されている広告主様にも、メリットの多い「オンライン送稿」をお勧めしております。これは、株式会社デジタルSEND／日本電気株式会社の2社連合が開発したオンライン送稿システムサービスと契約することによって送信可能になります。

オンライン送稿になると、

1. 入稿の手順が全てオンライン上で行えるようになります
2. 原則的には校正の出ないワンウェイフローとなります

オンライン送稿化によって、次のようなことが可能になります。

1 入稿締切の後倒し

時間短縮により雑誌広告の締切が後倒しにできるため、よりタイムリーな出稿が可能になります。

2 原稿の色味の安定

JMPAカラーを使用するため、従来よりも掲載の色味が安定します。

3 制作・校正作業の効率化

雑誌ごとに色校正を行う必要がなくなり、作業の省力化につながります。

4 入稿にかかっていた諸コストの削減

製版コスト、記録メディアのコスト、メディアを配送するコスト、校正の出力コストなどが削減できます。

- オンライン化のご案内 株式会社デジタルSEND HP「雑誌オンライン送稿サービス」をご覧ください。

<https://digital-send.com>

- 原稿制作方法など 雑誌広告デジタル送稿推進協議会 HP「雑誌デジ送ナビ」をご参照ください。

<https://www.3djma.jp/>

- スケジュール 集英社広告部ホームページ「ADNAVI」でご確認ください。

<https://adnavi.shueisha.co.jp>

1 申込締切 ※営業日基準です。

申込締切は、以下の目安をご参照の上、各媒体ページをご確認ください。

【純広申込締切の目安】

月刊誌 発売日の40～45日前

月2回・隔週刊コミック誌 発売日の40日前

■ 週刊誌
(週刊プレイボーイ) 発売日の40日前

(週刊少年ジャンプ) 発売日の8週間前

(週刊ヤングジャンプ) 表紙周り：発売日の40日前

中面：発売日の60日前

【タイアップ申込締切の目安】 発売日の65日前

※上記はあくまでも目安となります。ご発注以前に必ず担当者にご確認ください。

※GW、お盆、年末年始はスケジュールが大きく変動する場合があります。申込締切も上記より早まりますのでご注意ください。進行スケジュールは随時「ADNAVI」に記載しております。

※正式発注後は、純広もタイアップもキャンセルは承っておりません。仮に掲載をお取りやめになる場合でも、料金はそのままご請求いたしますので予めご了承ください。

※タイアップ制作開始後のクライアント様のご都合による企画変更および制作内容の変更につきましては、制作実費をご請求させていただきますので、予めご了承ください。

2 進行スケジュールについて

入稿形態	校了日（締切日）
オンライン	発売日20～25日前
オフライン	オンライン校了日の1～2日前

※具体的な進行スケジュールに関しては、集英社広告部ホームページ「ADNAVI」上で、随時更新します。

3 原稿審査に関して

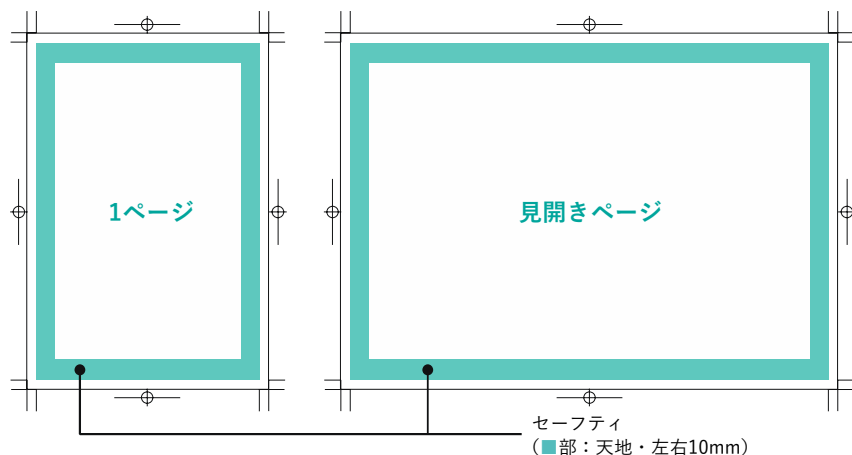
● 弊社の媒体に初めて出広されるクライアント様に関しては、事前に企業審査、原稿審査をさせていただきます。

● タイアップ風の記事広告、編集ページと似た構成の記事広告、および日本雑誌広告協会・雑誌広告掲載基準、その他法規に抵触するおそれのある広告に関しても同様に事前の審査をさせていただきます。ご了承ください。

4 入稿時の諸注意

1 追い込み（セーフティ）

●製本上、三方断裁しますので、原稿作成の際は天地・左右に追い込み（セーフティ）を設けてください。追い込み（セーフティ）は仕上り寸法の天地左右から、切れてはいけない文字・ロゴ・写真等に対して10mm以上とるようお願いします。



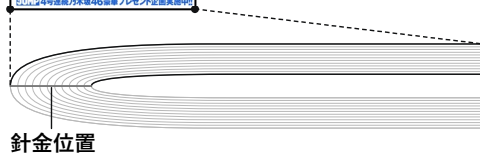
※中綴じの場合：センター折に近づくにつれ、左右の仕上り寸法が短くなっていきます。これにともない左右の追い込み（セーフティ）も大きく変化しますので、1ページの原稿は各媒体の料金表に表示したサイズをご確認ください。センター見開きページの原稿は左右の小口から各20mmずつ追い込み（セーフティ）を設けてください。



正面

例『ヤングジャンプ』の場合

一番外側の折と、一番内側の折では最大で15mmの仕上り寸法差が生じます。



側面

2 現在のデータ形式は1種類のみ

データ形式	JMPAカラー	ファイル形式	原稿の送稿	備考
J-PDF	JMPAカラーに準拠している (=色味を確認できる)	PDF	オンライン または 4点セット※	最も推奨されるデータ形式。 オンライン送稿にも対応する 唯一のデータ形式。

※4点セット：原稿データ、出力見本、データ仕様書、プリフライトレポート（⑤雑誌広告デジタル送稿 参照）

3 JMPAカラー原稿制作の導入方法

JMPAカラーに対応したDDCP（プリンタ）の環境を準備するには

- 方法1 ▶ 既にお持ちのプリンタがJMPAカラーに対応しているかメーカーにご確認ください。JMPAカラー対応DDCPとして必要なセッティングはメーカーにご相談ください。
- 方法2 ▶ JMPAカラー対応DDCPを新規購入する。
- 方法3 ▶ JMPAカラー対応DDCPを所有する会社へ出力や制作を依頼する。

① 原稿をJMPAカラーに準拠したプリンタで出力

写真・イラストなどをレイアウトした原稿を、JMPAカラーに準拠し管理されたプリンタで出力。それが最初の校正紙（DDCP）となります。

② そのDDCPの色味をもとに、原稿を修整

その校正紙（DDCP）の色味がJMPAカラーとしては「正しい結果」となりますので、それを確認しながら、目標とする色味に合わせるためにPC上で原稿を修整します。あくまで、基準とするのは出力された「校正紙」です（PCモニターではありません）。

③ ②を繰り返して、校了

データを修整したら、再度プリンタで出力して、色味を確認します。この繰り返しによって、「JMPAカラーに準拠した原稿データ」が作成されます。最終的に、プリンタで出力された色味が目標通りになったら、データは完成です。

※全工程で、画像のTAC値が320%を超えないように注意してください。

4 制作環境

■ データフォーマット

Mac版/Windows版 Illustrator 及び InDesignから書き出したPDF形式。雑誌広告デジタル送稿推進協議会が配布する最新の「PDF設定」を利用する。Acrobat Distiller やその他のアプリケーションからPDFを作成しない。

■ 使用システム

Illustrator・InDesignのバージョンに合わせ、それぞれ推奨されるOSを使用する。

■ 使用ソフト

Adobeがテクニカルサポートする下記のバージョンのみ使用可とする。各アプリケーションは最新のバージョンにアップデートする。

PhotoshopCS6以上 IllustratorCS6以上 InDesignCS6以上 Acrobat Pro XI 以上

5 雑誌広告デジタル送稿

「JMPAカラー準拠PDF」オフライン送稿時の確認事項

① 送稿前の確認

「JMPAカラー準拠PDF」で送稿を行う際には、送稿日までに十分な余裕を設けたタイミング（掲載申込時点が望ましい）で出版社に送稿形態やスケジュールなどの事前確認を行う。

【送稿前の注意事項】

事前に広告主、制作会社（製版会社）、広告会社間でDDCPの精度に関し十分な協議を行う。

② 送稿時の確認

以下の送稿物が揃っているかを確認してから送稿を行う。

- ①最終送稿PDFデータとプリフライトレポートが同梱されている「送稿メディア」（CD-RまたはDVD-R）
- ②「JMPAカラー2018準拠PDF仕様書」
- ③送稿メディアの最終送稿PDFデータからの「原寸カラー出力物（出力見本であることを明記）」
- ④最終送稿PDFデータに不備がないことが記載されている「プリフライトレポート」のプリントアウト。

① 送稿用CD-RまたはDVD-Rの確認

送稿メディアには700MB以下のCD-Rまたは4.7GB以下のDVD-Rを用い、1つのCD-RまたはDVD-Rに1つの最終送稿PDFデータおよび該当原稿のプリフライトレポートPDFデータのみが入っていることを確認する。CD-RまたはDVD-Rに、「JMPAカラー準拠PDF」であることを明記し、以下の記載事項がもれなくラベルに明記されていることを確認する。広告主名、出版社名、雑誌名、発売日、スペース、広告会社名、件名、製版会社（制作会社）名

② 仕様書の確認

「JMPAカラー準拠PDF」で送稿を行う際には、雑誌広告デジタル送稿推進協議会が発行する「JMPAカラー2018準拠PDF仕様書」を使用し、規定のシステムおよびOSのバージョン、規定のアプリケーションおよびバージョンに適合していること、記入項目に漏れがないことを確認する。

③ 出力見本の確認

送稿メディアの最終PDFデータから出力された原寸カラー出力物であること、また「出力見本」と明記されていることを確認する。

【送稿時の注意事項】

トンボ幅、追い込み寸法、最低文字級数などを考慮した原稿制作が行われていることを確認する。印刷・製本上の注意点や特記事項がある場合は、媒体担当者は制作担当者が必ず「仕様書」に記入するように注意を促すこと。返却が必要なものは要返却と記入する。

④ プリフライトレポートの確認

プリフライトレポートを確認し、最終送稿PDFデータに不備がないことを確認する。ただし、追い込み、塗り足し、ノセヌキの設定などはプリフライトレポートだけでは確認できないので仕様書にそれらの項目が制作者側で保証していることを確認する。特にインキ総量とノセヌキ設定については、制作者がアクロバット・プロの出力プレビュー機能によって問題がないことをチェックしたかを確認する。

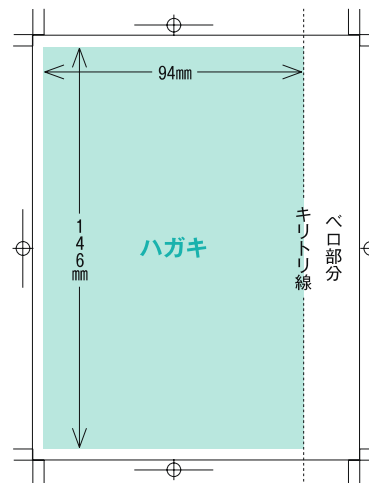
③ 仕様書への記入・署名

制作扱い広告会社記入欄、製版会社（制作会社）記入欄に署名されていることを確認し、媒体扱い広告会社記入欄へ署名を行う。JMPAカラー準拠PDFワークフローに必要な制作ガイドライン、PDF設定、プリフライトプロファイル、仕様書等はこちらからダウンロード可能。

雑誌デジ送ナビ <https://www.3djma.jp/>

※Dsweb版もこちらで確認できます。

5 ハガキの寸法についてのご注意



ハガキの場合、紙どりの制約がありますので、寸法の厳守をお願いいたします（ペロ部分は印刷所にて調整する場合があります）。郵便用バーコードとの関係上、原稿の目縮め・目伸ばしは一切行いません。また、天地・左右、小口・ノドのご指定を必ずお願いいたします。

※ノド側の指定：キリトリ線を設定いただくか、出力見本に「ノド側」を記入してください。

6 QRコードについて

- | | |
|-------------------|---|
| ①種類 | モデル2のみ |
| ②セルサイズ | 0.35mm以上 |
| ③バージョン（セル数） | レベル9以下 |
| ④誤り訂正レベル | レベルQ以上 |
| ⑤色数 | 墨ベタ1色※ |
| ⑥コード上下左右の余白（マージン） | 5セル以上の余白※※ |
| ⑦拡大・縮小 | 原寸での使用をお奨めします。 |
| ⑧入稿フォーマット | 解像度は原寸サイズでの使用で300dpi以上
データ形式はモノクロ2階調のTIFF
もしくはPhotoshop EPS/Illustrator EPS |

※CMYK4色で作成されたQRコードや色の薄いQRコードは読み取りができない場合があります。また、活版は墨ベタ1色でも読み取りができない場合があります。

※※QRコード上下左右の余白は「5セル」以上のアキを確保してください。

●QRコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。読み取り環境や条件によって読み取りが困難になる場合がありますので、注意書きの記載をお願いいたします。

例

$$\frac{0.35\text{mm}}{\text{セルサイズ}} \times \frac{5}{5\text{セルのアキ}} \times \frac{1.75\text{mm}}{\text{確保すべきアキ}}$$

■部：天地・左右1.75mm



原稿制作・進行上のお願い

転載について

基本的には発注時に転載可否を必ずご連絡ください。

弊社電子版雑誌の広告転載ルールは下記のとおりです。

- ・dマガジンなど読み放題サービス用の電子版雑誌に広告を転載する場合、純広／タイアップともに有料とさせていただきます（掲載料金につきましては別途お問い合わせください）。
- ・電子書店にて販売している電子版雑誌につきましては、従来どおり、ご希望に応じて無料で転載させていただきます。

・純広／タイアップともに、広告掲載のお申込みの際、電子版雑誌（読み放題サービス用含む）への広告転載の有無を必ずご連絡ください。

・転載の有無についてご連絡いただけない場合、読み放題以外の電子書店にて販売している電子雑誌については、純広は非掲載、タイアップは転載が基本ルールとなります。基本的に台割は本誌に準じます。弊社から都度掲載可否確認のご連絡はいたしませんので、ご連絡のない場合には、基本ルールに則って運用させていただきます。

電子デバイス上での見え方イメージ

本誌



1P広告

本誌1P広告

2P広告

電子版



1P広告

電子版1P広告

1P広告

2P広告内の
1P

2P広告

※上記はあくまでイメージです。電子書店によって異なる場合がございます。※見開き広告をデバイスを縦にして表示した場合、見開きが半分ずつ表示されます。
※転載されなかったページに関しましては、見開きの場合はトルツメ、1Pの場合は、各誌ロゴなどが表示される予定です。

電子版内、及びストア等での広告展開は担当者にお問い合わせください。